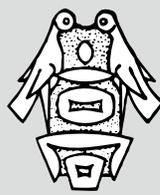




第24号

東京鳩会

題字は初代会長笠井正人氏



会報

長野県立屋代高等学校
発行：東京鳩会事務局

会長挨拶

会長 柿崎正義



東京鳩会の皆様におかれましては、お元気で活躍されていること存じます。東京鳩会の役割は、「屋代高校はひとつ」というスローガンのもと、大なる活動を支援することを大切にしたい。今年度は、東京鳩会の「瀬在幸安博士、北澤俊美議員」ご両氏が同窓会「鳩会」の新制度で喜ばしい名誉会員に推挙されましたことを報告します。東京鳩会は、「魂のふるさと屋代」の高い志と誇りをもってより発展し、成長させてゆくことが必要であります。そこには、会員相互の交流と協力が極めて重要で、一人では何もできません。私たちは、情勢の変化を的確にとらえ、常に先を見据えた画期的なビジョンを持ち、邁進する必要があります。総会には、東京鳩会会員の多数のご出席をお待ちいたします。

瀬在幸安博士に
初代の千曲市名誉市民の称号、
同窓会館建設は新たな段階に

同窓会長 赤地憲一



東京鳩会の皆様には、益々ご健勝にてご活躍の段、心よりお慶びを申し上げます。日頃は母校同窓会に對しまして、温かなご支援を賜り、心より厚く御礼を申し上げます。さて、平成27年度後半期における千曲市の話題は、貴東京鳩会の瀬在幸安博士(高校第一回)

に、千曲市では初となる名誉市民の称号が授与されたことにご存じます。ご承知のとおり、瀬在先生は、心臓外科学及び人工臓器学の国際的権威であり、昭和40年35歳の時に、難関のフルブライト奨学研究員の試験に合格され、米国オレゴン大学のAStar博士のもとで研鑽に励まれ、帰国後は、心筋梗塞症の手術であるバイパス手術(昭和42年)、及び補助人工心臓での離脱(昭和57年)分野で、ともに日本で最初に成功をおさめられました。また、第10代日本大学総長(平成8年~17年)、順天堂大学の天野篤教授の恩師としても著名で、これまでに、フランス教育功労賞、米国エリザベスタウン大学名誉博士等、海外でも多くのご栄誉に浴せられておられます。

昨年10月31日、千曲市創造館にて名誉市民顕彰式典が挙行政され、あわせて「医学と医療」私の歩んだ道」と題する瀬在先生の記念講演が催されました。翌々日は、母校へのご訪問をいただき、塩野校長先生のご配慮のもと、ご専門の心臓外科分野のご講話を中心に、全校生徒諸君を激励されました。

同窓会館の建設は、今年度の総会において(平成27年4月)満場一致でご賛同賜りましたが、建設に着手する時期として思料しておりましたのは、格別なご配慮をいただいている地主様のご意向を踏まえ、平成24年度に設置された中高一貫校附属中学校に喫緊の課題となつていいる運動場の造成に、長野県が見通した時、としておりました。

この願いは、母校校長先生、並びに同窓の国会議員、県・市



千曲市提供

会議員、及び千曲市・議会・教育委員会等の総力を上げた熱意が長野県当局を動かす中、この度多目的運動場が27年中に完成の運びとなりました。このことから、会館建設に着手したいと存じます。

つきましては、東京鳩会皆様をはじめ、広く会員各位のご理解とご賛同を賜り、その資金を募りたいと存じます。先の90周年事業でも大変お世話になり恐縮でございますが、本年は、上記のように同窓会館建設に機が熟した時であり、また県下初の公立一貫校に入学した附属中学生80名が、全員揃つて高等学校に進学した記念すべき年でもありますので、7年後の「創立100周年記念事業」への準備基金と併せてご支援を賜りたく、何卒、宜しくお願いを申し上げます。

東京鳩会各位の益々のご健勝とご活躍を心より祈念して、お願いの方々、ご挨拶まで申し上げます。



中高一貫一学期が高一に
学校長 塩野英雄

柿崎会長はじめ東京鳩会の皆様におかれましては、日頃から本校の教育活動に温かいご支援をたまわり誠にありがとうございます。

この春、中高一貫の一期生八〇名が全員屋代高校に上がり、四期生が入学しました。「普通科・理数科」に加えて「一貫生」が高一生となり、さらに活気ある学校になりました。昨年度末卒業生は現役国立立大学合格者百二十五名(卒業生の四七%)という輝かしい実績を残しました。「文武両道」の校是のもと、本年度インターハイにハンドボール男子、弓道女子団体と個人、剣道女子個人が出場、ギター・マンドリン班も全国大会で優秀賞を受賞しました。

中教審等で教育改革の議論が活発化する中、県のモデル校として開校した附属中学校を擁しSSH研究指定校である本校が中等教育の先導に立つべくこれからは努力を重ねて参ります。結びに東京鳩会の更なるご発展をご祈念申し上げ挨拶とさせていただきます。

雑感

私のふるさと屋代

高校一回生 戸矢崎哲

高校一回生も85才になった。前回の東京鳩会では同期の出席は瀬在幸安君と私の二人だけになってしまった。私は抗瀬下への疎開生徒だったが、お蔭様で戦時中も楽しい学生生活を送ることができた思い出も多い。

金井忠吉君が白米を持って来て、長尾義龍君の勝徳寺のお墓で飯盒で炊いた銀メシの味は忘れられない。千曲川の河原には西瓜がころがっていたし、リンゴや杏も喰べ放題だった。

正確に言うと中学最終回空で電気通信大学へ入つてしまったので高校一回へ行った人より1年早く卒業した。元々、祖父は信州新町の出身だし、稲荷山に墓があつて長野へ行くことは多い。

その頃、東京航空へ動員されて紫電改という戦闘機の設計製造にかかわつたが、今の国際電子工業の創業にたずさわるようになったことと無縁ではない。

磁力計や地震計の製造をしているが、東北大地震以来、太平洋プレートが日本列島へ圧力を加えているので、当然、地震や噴火が多いだろう。

屋代中学の頃、新天地を求めて満州への移住が叫ばれていたこともあつて一度行ってみたいところ、宮川健君、長尾義龍君、池内菊男君、片山久君等と夫婦でヨーロッパ、トルコ、エーゲ海と海外旅行を始めて20年ぐらいになるだろうか。これからは元気なうちは毎年、旅をしようと思つている。

高野山紹介と真田丸

高校八回生 武井 武

小生定年後、和歌山で十年程食品店事業に関わつております。今年、長野では善光寺ご開帳。七年振りに大変な参拝のお客様でした。和歌山県では高野山開創1200年大法会が行われ、全世界から弘法大師空海の偉業を偲んで60万人の人々が訪れました。鳩八会長野の皆さんが、一昨年バスを仕立て、聖地高野山に参拝の旅をされ、宿坊蓮華定院(六文銭)真田家菩提寺に宿泊され、精進料理に舌鼓をされ、朝夕のお務(仏前での毎日の読経)に心を清められ、世界遺産の一端を担う奥之院(約2km)の霊界を散策され、長旅を楽しんで頂きました。

蓮華定院からの二十数km離れた地に(九度山町、真田庵)昌幸・幸村親子が幽閉されてきたさまざまな経緯をした後、大坂冬の陣・夏の陣で大活躍をする。

来年NHK大河ドラマの登場が待たれるが、信州上田市真田町に生を上げた真田が、我々の出身地、上田、松代を始め全国に亘り戦国物語が展開される「真田丸」の放映が期待されます。

紀州九度山町真田庵は小生在住地(高野町)で紀ノ川を渡れば隣町で、北信松代・屋代エリアの千曲川景色が良く似ており、目に見えない縁で結ばれている不思議を感じている此の頃であります。

高野山の紹介「和歌山の謎」寺西貞弘著実業の日本社 抜粋「高野山は「一山境内」と呼ばれることから分かるように、山全体を境内としている。その壮大な空間には百以上の小院や宿坊があるが、本堂と並んで最も重要とされているのが弘法大師廟がある「奥之院」だ。一ノ橋から弘法大師御廟へと至る石畳の参道は、老木がうっそうと生い茂り、屋でもなお薄暗い。驚くべきは約二キロメートル続く参道の両側に無数の墓石が立ち並んでいることである。正式な数は定かたではないが、一説には二十万基に及ぶという。墓石の大きさやデザインはさまざま。著名人墓石も多く、中之

橋までの間には上杉謙信や武田信玄、平敦盛、伊達政宗、明智光秀、親鸞などの墓石が、中之橋を過ぎると千姫、豊臣家、織田信長、浅野内匠頭、などの墓石が立ち並ぶ。信玄と謙信、信長と光秀というように俗世では敵味方であった武将同士も恩讐を超えて同じ場所にお眠りしている。

人生百年の時代、是非、高野山参拝をお薦め致します。

歴史・文化に触れることの楽しみ
高校九回生 塚田袈裟友

故郷を離れて50有余年、生まれ育つた松代が懐かしと思うようになりまして。年に1~2度は実家の方に向向いて、います。その際、訪れるのは今更ながらと言われますが観光スポットです。幼い頃はあまり関心をもたなかったが、その貴重な数知れない文化・遺跡に驚き、認識を新たにしていきます。そしてこの地にもそれがあつたのです。

現在住んでいる福島県いわき市では、毎年「市民大学」が開講されています。4学部ある中で「いわき学部」は環境と文化をテーマに考古、自然、歴史、文学の各分野から特色ある出来事や人物等を取り上げ、当地方の文化を育んだ特徴的な事柄や業績などについて学んでいます。

最近の映画に「超高速参勤交代」がありました。その舞台の湯長谷藩は当地です。あまり目につかない所に、いろいろな文化があることに驚いています。

このように歴史・文化に興味を持つのは、歳のせいでしょうか。

私の半生、マラソンの思い出
高校十回生 岡田健三

私は東京オリンピックの年(1964年)に横浜国大工学部を卒業後、昭和電工(株)に入社し、スカイアルミニウム(株)を経て1999年に退職しました。その間研究部門に所属し、主としてアルミニウム材料の需要拡大の研究に携わりました。定年後は、ボケ防止にと家内の学習塾の手伝いで日々を送り16年に

平成26年度 総会出席者名簿
(敬称略・50音順)

高62回	鈴木 杏実
高57回	渡邊 優
高49回	宮尾 佳世/和田 千潤
高33回	鎌田 貞治
高35回	森村 浩/田辺美津子
高29回	神野 明久
高26回	太田 耕司/唐澤しず子
高22回	赤澤 友和
高21回	森 正明/米村 道章
高19回	荒木 栄廣/清水 勝
高18回	北川 正次/倉科 悦子
高17回	伊東 博道/加藤 文男
高16回	二村 恒元
高15回	高津 熟/名取 玲子
高14回	中山 宣子/仁科 陽
高13回	青木 亨郎/河口 收
高12回	相澤 正志/大日方六夫
高11回	西村 孝雄
高10回	親松 逸雄/高松 雄行
高9回	宮城 宏成/山崎 裕一
高8回	笠井 繁三/小崎 國光
高7回	新井 繁己/池田 孝
高6回	宮尾 徹
高4回	春原欣之助/田中 清人
高2回	宇野 忠/近藤 成敏
高1回	瀬在 幸安/戸矢崎 哲
母校来賓	同窓会長 赤地 憲一
	校 長 塩野 英雄
	同窓会副会長 柳澤 修嗣

なりませす。

自分の半生の懐かしき思い出は、会社の業務の傍らに励んだマラソンです。社宅の前が多摩川の河川敷で全面芝生のゴルフ練習場でした。ここでのジョギングがマラソンを始めるきっかけでした。以後、朝のジョギングは45年余、現在も続いています。本格的に走り出したのは、40代後半で、会社の陸上同好会で各地のレースやフルマラソンにも挑戦しました。まさに絶好調!

硬派から軟派へ

高校十六回生 二村恒元

卒業以後、皆様方には大変御無沙汰して申し訳なく、この稿にて御勤弁願いたいと思ひ参加しました。

「下手の横好き」で駄馬ながら喜々と走りまわりました。二年近くは家内も引き込み、二人で内外のマラソンツアーを楽しみ、ホルルマラソンもペアで完走しました。結局、私自身、フルマラソンは50回余完走しましたが、60代後半にはさすがに腰、膝にガタがきてレース参加は見送り、現在は、スロージョギングに切り替え毎日6km前後、家内と楽しんでいきます。

スイスアルプス紀行

高校十二回生 山本良雄

千曲川にかかる赤坂橋から見える北アルプスの山並み。いつか本場アルプスに行ってみたくて思っていたが、ついにその夢がかなう時がきた。

ブルンデンワルド駅から登山電車に乗る。車窓からは氷河時代の跡を残す岩壁と雪渓が目の前に迫る。アイガーとメンヒダ目指すはその奥にそびえるユングフラウ。今日も雲がかかっている。その頂きは見えない。クライネ・シャイデック駅に着く。目の前に広がるアイガー、メンヒ、ユングフラウと並んだ様は、まさに壮観だ。これがアルプスか。思わず息をのむ。

乗り換えて、岩壁の中にあるユングフラウヨッホ駅に着く。標高三四四四米。高山病に注意しながら氷河をくりぬいて作った氷の宮殿、アイスパレスを歩く。外は吹雪いていて寒い。まわりの景色は見えない。残念。二時間ほどでクライネ・シャイデック駅に戻る。遅めの昼食をとっていたら通り雨。今度は、ラウター・グルンネ

ル經由の登山電車で下ると、車窓からユングフラウの頂きが見え、その名前のおりに姿を見た。その名前のおりに望んでも頼んでも年に1〜2度しか見えないその全容が姿をあらわしたのだ。すばらしい。感激。この後、モンブラン、マッターホルンとまわったが、いずれも快晴で、そのすばらしい姿は今日も目にうかぶ。その雄大なスイスアルプスの山並みはまた行きたい所である。

現役時代は陸上部に所属し、信大(教育) 新卒の藤本勝彦氏が体育教師として昭和37年4月に赴任し、陸上部のコーチに就任してから厳しいトレーニングが始まり38年3年時、県大会で400米(52秒9)で優勝することが出来た。

進路を決めなくてはならなくなり、3年の夏、同級生の高木義勝君(吹奏楽部フルート担当)航空自衛隊音楽隊から国立音大)に誘われて、演奏旅行で長野へ来ていた中央大学でブラスバンドの第一部ピックアップメンバーによるビッグバンド、スウィング、クリスタルオーケストラの演奏に深く感銘を受け、学生でこんな素晴らしいアンサンブルとアドリブが出来るかと思ひ、大変なカルチャーショックを受けました。

体育学部がある2、3の大学から推薦入学の話がありました。が、受験で中大に39年4月現役で入学しました。当時の中大陸上部は、箱根駅伝六連覇中、東京オリンピックの候補選手が多く在籍している強豪校でした。

練習グラウンドでの練習に参加するものの体力・気力共に限界を感じ、推薦入部ではないのでこの時点で体育会から足を洗ひ、180度転換し文化的サークルの放送研究会に入会しました。

大学3年時は、あの感動したバンド スウィング クリスタルオーケストラの司会を担当

し、全国演奏旅行に同行したことは、いい思い出です。今でも当時のメンバーと親交が続いています。卒業後、ニッポン放送の音楽出版のバシフィック音楽出版に入社し、音楽著作権の仕事に従事し、その後レコード会社にスカウトされ、BMGビクター、ビクターエンターテインメントで定年を迎え、現在も音楽業界でフリープロデューサーとして頼まれ仕事の事をしています。音楽業界に関し相談事があれば御一報下さい。

「貴方は近い将来確実に糖尿病が発症すると思っいてください」

初めて人間ドックを受診したときの面談した医師の冷たい言葉が今も鮮明に残っています。このショックが今となっては「有り難いお告」だったのか50才頃からウオーキングを始めました。何気なくその歩数を保存し続けて19年目。現在、累計は8500万歩になり、歩幅70センチとするとおよそ6万kmとなりました。赤道付近の地球1周は4万kmだそうです。

退職後、知人がNPOで中高年の健康づくりとしてPPK運動を推進していると聞き、「江戸歴史ウォッチングと江戸グルメ・健康ウォーキング」の企画をもって参加したのが平成20年でした。それから毎回20〜35名ほどの会員さんに江戸の史跡を解説しながら歩き、まもなく100回になります。私の地球1周に付き合ってくれた壊れた歩数計は今も捨てきれず戸棚の隅に休んでいます。私はPPKを目指して歩く仲間たちと、老舗グルメをいただき、江戸史跡を歩き続けていきたいと思っています。

間には新たにたくさんの方との出会いがありました。その出会いを大切にすることで信頼関係が生まれ、加えて関係者各位のご支援を数多くいただいたことに深く感謝しております。

私は5年前に同居で介護生活の親を看取り、現役時代は職場と家の往復で、地域に目を向けることが殆んどできませんでした。数年前に管理組合の役員を3年間に亘り務め、居住地域では多少なりとも情報を把握していましたが、担当地区となる近隣団地の生活実態に関しては全くの白紙状態でした。委員としてたくさんの方々の生活状況を知ることから、人とのつながりが格段に広がってきました。

一方、地区の青少年では学校関係者に加えて、地域から幅広い年代の方々が参加。保育園、幼稚園、小学校、中学校までの子どもたちの成長を地域が見守ることの大切さに加え、毎年増加している高齢者対応にまで討議内容が広がっています。

加えて、地域にお住まいの高齢者を対象に、サロンの『お楽しみ会』を毎月三回長年開催しています。いつも満員の会場には、圧倒的多数の女性と少数の男性の元気な声が響いています。この会に参加することで、皆さん方の『心が安らぐとき』になってもうればとの思いで取り組んでいます。

さまざまなところでたくさんの方との出会いが、民生児童委員として地域の中で活動する原点になっています。様々な家庭環境で生活している方々も、少しでも前向きに人生が送れるよう、日々ささやかですが支援と見守りを行っています。

昭和42年8月夏休み、私は同級森正明君と燕岳から槍ヶ岳表銀座の縦走をした。装備など何もなく、近所のスポーツ店に古毛布と固形燃料、水筒と最低限をザックに詰めた。もう高校

生だから何でこんないと高を括り勇躍登る。梅雨明けで天候は上々、初日燕岳からの眺望は絶景で山を満喫した。

翌日は大天井岳への散歩道、殆ど平坦な道、槍を眺めつつ風に吹かれ短パンTシャツの軽装で高山植物を愛でた。朝露に濡れ重いテントは体力のある森君が持つてくれ西岳に着く。ここまで6時間、ここで朝炊いたお握りを食べた。ぼそぼそと目も眩しい。目の前に雄大な槍ヶ岳。だがその前に300メートル一気に降る道があり、次に険しい東嶽尾根の急登が待つ。実は昨夜寒くて眠れず、食欲も乏しい私は歩き続け気が重かった。それでも気が取り直して降りたが、道は狭く険しく森君に遅れがちになる。午後2時を過ぎると天候が一変し入道雲が湧き暗くなった。最鞍部を通り越して登り始めるとポツリポツリと雨まで落ちてきた。更に10分も経つと土砂降りの夕立に雷鳴がひらめく。私は歩き疲れて岩陰で雨と雷を立つたまま避けた。雷雨の激しさは想像を超えていた。やがてパトロールが下りてきて、大丈夫かと問う。はいと頷くと、気をつけなよ、穂高の方で落雷があり、けが人があったそうだと短く告げ、更に下って行つた。私は暫らく休み、小やみになったので登り始めると上から森君が迎えにきて励ましほどなく近くの山小屋に着いた。ほっとして食べて寝た翌日は元気いっぱい、二人は1時間もかからず槍に登頂、昨日の雨が嘘のような快晴、絶景だった。これで登山の醍醐味と二人で喜びに浸った。

その日の夕方上田の自宅に帰った。すると家族が、よく無事だったと大騒ぎだ。何を大げさにと訝しがるとこれを見よと信毎を差し出す。そこには松本深志高の二年生が西穂高で落雷に遭い十余人が命を落としたりとのトップ記事。吃驚して食い入るように見る。読むと私と同じ年齢である。場所は少し違うが同じ時刻を共に歩いていた。衝撃は大きかった。

以来槍ヶ岳と奥穂高岳には各十回以上登っている。登る度に頂上で西穂高岳を向き手を合わせる。亡くなった深志高の生徒

は誰も優秀であつたらう。何の過失もなく突然命を落とし、さぞ無念であつたらう。私は彼らの分もしつかり生きねばとその都度心に誓った。

子宮頸癌について

高校二十三回生 舟山 幸

私は、平成27年9月26日に第12回屋高フオーラムで「みんな考えてよう 子宮頸癌のこと」と題して講演をしました。子宮頸癌に関する正確な情報を提供し、男女の別なく考えをもらえたらと思ひ準備をしました。最後のまとめのみ提示します。

子宮頸癌は若い女性に増えている。

初期の癌を診断(早期発見)ができる。

子宮頸癌は検診で前癌状態(初期の癌を診断(早期発見)ができる)。

初期の癌であれば、子宮を温存する治療ができるので、がん検診を受けることが大切である。

子宮頸癌はヒトパピローマウイルス(HPV)感染によっておこる。(HPV16、18型感染が多い)

HPVワクチン接種で子宮頸癌を予防できる。

ワクチンを接種しても、がん検診は必要である。

屋高フオーラムで子宮頸癌を取り上げてくださった、同窓会長・赤地憲一先生に感謝します。

赤地先生はフオーラムの冒頭、英語で挨拶をされました。フोट：学生にもどつたような気分です。拝聴しました。(私は赤地先生の英語の授業を受けました。)

昭和42年8月夏休み、私は同級森正明君と燕岳から槍ヶ岳表銀座の縦走をした。装備など何もなく、近所のスポーツ店に古毛布と固形燃料、水筒と最低限をザックに詰めた。もう高校

生だから何でこんないと高を括り勇躍登る。梅雨明けで天候は上々、初日燕岳からの眺望は絶景で山を満喫した。

翌日は大天井岳への散歩道、殆ど平坦な道、槍を眺めつつ風に吹かれ短パンTシャツの軽装で高山植物を愛でた。朝露に濡れ重いテントは体力のある森君が持つてくれ西岳に着く。ここまで6時間、ここで朝炊いたお握りを食べた。ぼそぼそと目も眩しい。目の前に雄大な槍ヶ岳。だがその前に300メートル一気に降る道があり、次に険しい東嶽尾根の急登が待つ。実は昨夜寒くて眠れず、食欲も乏しい私は歩き続け気が重かった。それでも気が取り直して降りたが、道は狭く険しく森君に遅れがちになる。午後2時を過ぎると天候が一変し入道雲が湧き暗くなった。最鞍部を通り越して登り始めるとポツリポツリと雨まで落ちてきた。更に10分も経つと土砂降りの夕立に雷鳴がひらめく。私は歩き疲れて岩陰で雨と雷を立つたまま避けた。雷雨の激しさは想像を超えていた。やがてパトロールが下りてきて、大丈夫かと問う。はいと頷くと、気をつけなよ、穂高の方で落雷があり、けが人があったそうだと短く告げ、更に下って行つた。私は暫らく休み、小やみになったので登り始めると上から森君が迎えにきて励ましほどなく近くの山小屋に着いた。ほっとして食べて寝た翌日は元気いっぱい、二人は1時間もかからず槍に登頂、昨日の雨が嘘のような快晴、絶景だった。これで登山の醍醐味と二人で喜びに浸った。

その日の夕方上田の自宅に帰った。すると家族が、よく無事だったと大騒ぎだ。何を大げさにと訝しがるとこれを見よと信毎を差し出す。そこには松本深志高の二年生が西穂高で落雷に遭い十余人が命を落としたりとのトップ記事。吃驚して食い入るように見る。読むと私と同じ年齢である。場所は少し違うが同じ時刻を共に歩いていた。衝撃は大きかった。

以来槍ヶ岳と奥穂高岳には各十回以上登っている。登る度に頂上で西穂高岳を向き手を合わせる。亡くなった深志高の生徒

は誰も優秀であつたらう。何の過失もなく突然命を落とし、さぞ無念であつたらう。私は彼らの分もしつかり生きねばとその都度心に誓った。

子宮頸癌について

高校二十三回生 舟山 幸

私は、平成27年9月26日に第12回屋高フオーラムで「みんな考えてよう 子宮頸癌のこと」と題して講演をしました。子宮頸癌に関する正確な情報を提供し、男女の別なく考えをもらえたらと思ひ準備をしました。最後のまとめのみ提示します。

子宮頸癌は若い女性に増えている。

初期の癌を診断(早期発見)ができる。

子宮頸癌は検診で前癌状態(初期の癌を診断(早期発見)ができる)。

子宮頸癌は若い女性に増えている。

初期の癌を診断(早期発見)ができる。

子宮頸癌は検診で前癌状態(初期の癌を診断(早期発見)ができる)。

は誰も優秀であつたらう。何の過失もなく突然命を落とし、さぞ無念であつたらう。私は彼らの分もしつかり生きねばとその都度心に誓った。

子宮頸癌について

高校二十三回生 舟山 幸

私は、平成27年9月26日に第12回屋高フオーラムで「みんな考えてよう 子宮頸癌のこと」と題して講演をしました。子宮頸癌に関する正確な情報を提供し、男女の別なく考えをもらえたらと思ひ準備をしました。最後のまとめのみ提示します。

子宮頸癌は若い女性に増えている。

初期の癌を診断(早期発見)ができる。

子宮頸癌は検診で前癌状態(初期の癌を診断(早期発見)ができる)。

子宮頸癌は若い女性に増えている。

初期の癌を診断(早期発見)ができる。

は誰も優秀であつたらう。何の過失もなく突然命を落とし、さぞ無念であつたらう。私は彼らの分もしつかり生きねばとその都度心に誓った。

子宮頸癌について

高校二十三回生 舟山 幸

私は、平成27年9月26日に第12回屋高フオーラムで「みんな考えてよう 子宮頸癌のこと」と題して講演をしました。子宮頸癌に関する正確な情報を提供し、男女の別なく考えをもらえたらと思ひ準備をしました。最後のまとめのみ提示します。

子宮頸癌は若い女性に増えている。

初期の癌を診断(早期発見)ができる。

子宮頸癌は検診で前癌状態(初期の癌を診断(早期発見)ができる)。

子宮頸癌は若い女性に増えている。

初期の癌を診断(早期発見)ができる。

は誰も優秀であつたらう。何の過失もなく突然命を落とし、さぞ無念であつたらう。私は彼らの分もしつかり生きねばとその都度心に誓った。

子宮頸癌について

高校二十三回生 舟山 幸

私は、平成27年9月26日に第12回屋高フオーラムで「みんな考えてよう 子宮頸癌のこと」と題して講演をしました。子宮頸癌に関する正確な情報を提供し、男女の別なく考えをもらえたらと思ひ準備をしました。最後のまとめのみ提示します。

子宮頸癌は若い女性に増えている。

初期の癌を診断(早期発見)ができる。

子宮頸癌は検診で前癌状態(初期の癌を診断(早期発見)ができる)。

子宮頸癌は若い女性に増えている。

初期の癌を診断(早期発見)ができる。

は誰も優秀であつたらう。何の過失もなく突然命を落とし、さぞ無念であつたらう。私は彼らの分もしつかり生きねばとその都度心に誓った。

子宮頸癌について

高校二十三回生 舟山 幸

私は、平成27年9月26日に第12回屋高フオーラムで「みんな考えてよう 子宮頸癌のこと」と題して講演をしました。子宮頸癌に関する正確な情報を提供し、男女の別なく考えをもらえたらと思ひ準備をしました。最後のまとめのみ提示します。

子宮頸癌は若い女性に増えている。

初期の癌を診断(早期発見)ができる。

子宮頸癌は検診で前癌状態(初期の癌を診断(早期発見)ができる)。

子宮頸癌は若い女性に増えている。

初期の癌を診断(早期発見)ができる。

東京工業団体連合会 副会長 国際電子工業株式会社 取締役社長 戸矢崎 哲(高1)	東京鳩会 会長 柿崎正義(高9)	東京鳩会 幹事長 古川克治	東京鳩会 幹事長 相澤正志	東京鳩会 幹事長 中澤嘉明	東京鳩会 幹事長 親松逸雄(高12)	東京鳩会 幹事長 千野郁雄(高12)	東京鳩会 幹事長 高松雄行(高12)	東京鳩会 幹事長 中村 守(高10)	東京鳩会 幹事長 高松雄行(高12)	東京鳩会 幹事長 岡田正夫(高17)	東京鳩会 幹事長 福永真一(高14)	東京鳩会 幹事長 北沢俊美(高8)	東京鳩会 幹事長 武井 武(高8)	東京鳩会 幹事長 武井 武(高8)
--	---------------------	------------------	------------------	------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	----------------------	----------------------	----------------------

総会

第32回東京鳩会総会が平成

27年2月28日(土)銀座東武ホテルに於いて約90名の参加を得て開催、午後3時に開会した。河口収幹事長(高14回)の挨拶・司会が始まり、仁科陽氏(高14回)のリードで校歌斉唱。続いて伊東博道氏(高20回)より過去1年の物故者氏名を披露の上黙祷し、ご冥福をお祈りした。

柿崎正義会長(高9回)の挨拶では、信州からの3名の来賓(赤地憲一会長(高17回)・柳澤修副副会長(高28回)・塩野英雄中学校長)のご臨席への謝意を表し、本会の益々の

発展のために会報への広告を介した寄付等会員各位の今迄の協力と今後の一層の協力を願う挨拶があった。続いて、伊東氏より第26期の事業・活動報告及び決算報告、更に第27期事業・予算計画を報告し、拍手をもって承認された。

来賓の紹介に続き、赤地新会長よりご挨拶。習い始めたというバイオリンによる校歌の演奏のあと、同窓会事業への会員の種々協力、特に北澤元防衛大臣(高8回)・瀬在日大元総長(高1回)への謝意あり、最後に高17回生以降数年、時代を共有した伊澤名物校長(ニッケネームをケネ

ダイさん)に話が及び、ケネダイ元大統領の息女たる現米国駐日大使を屋高フオーラムに招待する構想秘話(結局実現出来なかつたが)も披露され、一同興味深く聞き入った。

続いて塩野中学校長よりご挨拶。中学第4期生80名の入学を迎え、1期生は高校進学。理数系1クラス、一般4クラスと併せると7クラスとなる。職員も100名弱という大所帯となっている。スポーツ・文化学芸活動が盛んで正に本学の理念たる文武両道を全うしている旨のお話があった。

第2部の懇親会は岡田正夫氏(高17回)の司会のもと、千野郁雄氏(高12回)の乾杯の音頭が始まり、メインイベントは昨年同様渡邊優さん(高57回)(トランペット)、今年に加えて松田美由紀さん(同)、坂田磨美さん(トロンボーン)及び小篠和也氏(同)による演奏。曲は、「A列車で行こう」、「アナと雪の女王」、「川の流れるように」そしてアンコール曲として「上を向いて歩こう」の4曲。万雷の拍手の中、演奏者に花束贈呈、大好評であった。次に仁科氏のリードで「信濃の国」、続いて高橋修氏(高22回)のリードで応援歌「東の空に」「北斗の星の」「若葉に薫る」

更に「勝利の讃歌」を声高らかに熱唱した。

引き続き恒例の抽選会。中村守氏(高10回) 寄贈の写真集「奥信越路」3冊と川中島蔵元酒仙蔵野より取り寄せた濁り酒1ダースを倉島洋二氏(高19回) リードで実施、大いに盛り上がった。最後は、重見憲明氏(高17回)の閉会の辞と3本締めでお開きとなった。

寄贈品は上記写真集の他に、千野郁雄様(高12回)から会場用に用意された濁り酒、それから例年同様相撲絵師松林モトキ氏(高19回)より出席者全員への相撲絵番付があり、この場をお借りし感謝致します。又、昨年東武ホテルに赴任したばかりの本校卒業生鈴木杏実さん(高62回)よりの挨拶があったことを付記しておきたい。



総務担当 伊東博道氏



東京鳩会会長 柿崎正義氏



校歌リード役 仁科 陽氏



幹事長 河口 収氏



乾杯 千野郁雄氏



司会者 岡田正夫氏



学校長 塩野英雄氏



同窓会長 赤地憲一氏



閉会の辞 重見憲明氏



抽選リード役 倉島洋二氏



応援歌のリード役 高橋 修氏



赤地同窓会長の(バイオリン)演奏



御来賓



総会風景



演奏風景



懇親会の一コマ



テーブルを囲んで



出演者に花束贈呈



応援歌を熱唱。若手会員頑張れ!



テーブルを囲んで

東京鳩会ホームページ

東京鳩会のホームページにて、総会出欠の返事も出来ますので、下記アドレスにアクセスして下さい。そのほか皆様からの情報や投稿を随時お待ちしております。

またホームページ編集委員を募集しています。メールでご連絡下さい。

<http://www.t-hato.jp> メール: info@t-hato.jp

編集後記

会員各位のご協力、ご寄稿により第24号を出稿できましたこと感謝申し上げます。

本年は昭和90年・戦後70年と何事にも頭文字になり、東京鳩会は昭和51年に第1回開催致しましたので本年は41回の開催になります。

会員皆様の参加・活動をお願い致しますと共に、皆様も御身体に気を付けてご活躍下さいますよう祈念申し上げます。

尚、広告に伴う寄付金のご協力・ご支援に感謝申し上げます。

千野郁雄

東京鳩会 第32期決算報告

(自平成26年4月:至平成27年3月) 単位:円

収入金額		支出金額	
前年度繰越金	159,436	総会費用	387,720
年会費	381,000	イベント代	137,648
会報広告料	195,000	事務費	105,833
総会参加費	638,000	会報印刷発送送料	408,982
祝儀	24,000	役員活動費	83,920
		通信費	32,700
		HP維持費	54,000
		雑費	23,504
収入合計	¥1,397,436	支出合計	¥1,234,307
次期繰越金額			¥163,129